



桃五だより



No.596

(2月号)

2021.2.1

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>

情報化社会に向けて

副校長 日向 須真子

オンライン・ホームルームの実施に際してたくさんの方の保護者の皆様のご協力をいただきありがとうございました。おかげさまで全校児童663名中つなごった人数は615名でした。もともと参加できない人数を除いた参加率は96%でした。初めてとしては上々だと思います。

この日のために学校ではパソコン室のパソコンにTeamsのログインが行えるテスト環境を作り、21学級すべての児童に3～4か月かけて操作方法を指導しました。今年はコロナ禍ということもあり、ICTを活用した子供たちの学びの状況を、学校公開等で保護者の皆様に見ていただけなかったのは、誠に残念でなりません。そんな中、今回のオンライン・ホームルームは、学校での子供たちの学びの状況を垣間見ていただける機会となりました。

ここで少しですがパソコンやタブレットを使った活動の様子をお知らせします。

1年生はパソコン室でパソコンの起動とお絵描きを体験しました。2年生から6年生までは、教室で一人一台のタブレットを使っての授業を行いました。ノートのように考えを書き込む、写真データと文章を編集してまとめる。作成したデータをタブレットに保存して担任に提出する。プロジェクターやスクリーンを使って発表する。または自分のタブレットから友達の手元を見る。体育で技などのフォーム

を動画で記録し確認し合う。このようにパソコンやタブレットを積極的に活用し、今までとは違う学習を行ってきました。

これ以外に、どの学年でもキューブキッズを使って、算数や国語など自分の課題にあった問題を選んで学習に取り組みました。

これからも、桃五小では次のようにタブレットを活用した授業を行います。

- 1、子供たちが主体的に取り組み、調べたり創作したりしたことを発信する活用
 - ・社会や総合などの調べまとめる学習
 - ・メッセージカードや、詩を作る活動
 - ・体育などの実技での活動
- 2、一人一人の考えや思いを全員で共有する活用
 - ・意見や感想の共有
 - ・作成したカードや写真・動画の共有
- 3、桃五小として取り組んでいる対話的活動での活用
 - ・友達の考えと自分の考えを比べ、広げ、まとめる活動
 - ・対話を通して自分や友達の思考の変化を受け入れ、認め合う活動

以上のような活用を通して、情報活用能力をどの子にも付けられるように、教職員一同協力して取り組んでまいります。

2月の生活指導目標

正しい言葉づかいをしよう

言葉には力があります。「すごいね」「ありがとう」「よくがんばったね」「この調子！」など、子供でも大人でも前向きなあたたかい言葉は、人からもらえば心がぽかぽかします。思いやりのあるきれいな言葉づかい、TPO(時間・場所・目的)に合わせていい言葉づかいを実践していきましょう。ぜひ、ご家庭でもあたたかい言葉やいい言葉で家族同士で広げてください。